

老人クラブ三大活動

健康

友愛

奉仕

ねんりんおうみ

第88号

米原市近江老人クラブ連合会発行 電話 0749 (52) 4393



能登瀬付近から天野川上流を見る

さざれなみ
磯越道なる能登瀬川
音のさやけさたぎつ瀬ごとに
波多朝臣小足
万葉集 卷第三



就任のご挨拶

近江老人クラブ連合会

会長 北村 正博

皆さん、いかがお過ごしですか。

草木が芽生えきれいな新緑の頃から今では周りの田んぼも一面緑に変わり、行楽にスポーツにと楽しいはずの時期ですが、今年も新型コロナウイルスの感染予防で外出自粛になり、グラウンドゴルフやサロンにも参加できません。緊急事態は解除されましたが油断はできません。この様な異常事態の中ですが、三月末の新旧理事会において令和二年度、三年度の近江老ク連会長に選任され、お受けすることになりました。

老ク連もいろいろ問題を抱えておりますが、何よりも一番大切な事は、一人一人が健康で楽しい生活を送れる事だと思えます。

それには、各々が自分の生きがいを見つけ、自分一人ではなく周りの人々と交わり、朗らかに会話を交わすことで楽しさを見つけ、毎日の充実感を味わうのが大切かと思えます。

それと、私達高齢者の強みはこれまでの豊富な経験を持っていることです。今、若い人は私達の若かった時以上に賢く、しっかりと生活しているように感じます。

しかし難しい経済状態の中、大変だろうとも思います。そこで、若い人の生活にも距離をとりながら関心をもち、互いに助け合うことで絆を保ち、孤独を避け、積極性を維持する事が大切です。

老人の絶対数は有るのに老人会員数が減少し、会が維持できない状態です。役員になるのを避け退会、定年延長により勤めているから入会しない。

入会しなくても、サロンやそれぞれの趣味等での活動ができる。いろいろな想いが有ると思います。老人会・老ク連の維持、存続については、これからも「市」と協議したいと思えます。

先日、瀬戸内寂庵さんのお話の中で「和顔施」と言う言葉を聞きました。にっこりと笑顔で話しかけ、自分も相手も幸せにと言つ、気持ちの持ち方だそうです。

自分だけでなく、周りを幸せにする人生でありたいですね。

皆さんと一緒に、楽しい老ク連活動ができればと思います。ご協力の程よろしくお願ひします。

令和2年度 近江老人クラブ連合会役員名簿

【敬称略】

役 職		氏 名	字 名	役 職	氏 名	字 名	
会 長		北 村 正 博	世 継	体育部	部 長	中 野 光 夫	高 溝
副会長(厚生友愛部兼務)		堤 正 純	宇賀野		部 員	中 川 雅 晴	長 沢
教養部	部 長	高 居 芳 美	能登瀬		サポート委員	藤 田 一 雄	舟 崎
	部 員	古 野 芳 幸	多和田	監 事	古 野 輝 男	能登瀬	
	サポート委員	木 田 勝 幸	寺 倉		廣 田 治 夫	寺 倉	
厚生友愛部	部 長	堤 正 純	宇賀野	事務局(創造推進員)		北 川 惣 一	多和田
	サポート委員	吉 野 和 雄	世 継				

字 名	単老名	会 長 名	女性部長名	世帯数	会 員 数		
					男	女	計
多和田	大宝クラブ一	○粕 淵 昭 彦	○原 田 民 子	56	31	46	77
	大宝クラブ二	北 沢 活 実	北 川 美代子	66	38	49	87
能登瀬	長寿会松組	細 野 直 之	細 野 直 之	43	28	17	45
	長寿会竹組	○古 野 輝 男	○古 野 輝 男	45	30	24	54
寺 倉	寿 会	廣 田 治 夫	河 居 幸 子	42	28	39	67
箕 浦	箕 和 会	沢 村 眞 司	中 山 安 子	49	26	38	64
西円寺	円 照 会	児 玉 賢 勝	吉 田 芳 枝	24	13	22	35
舟 崎	長 生 会	田 口 康 雄	藤 田 静 枝	27	17	20	37
高 溝	長 生 会	田 中 正 俊	夏 原 節 子	47	30	35	65
母の郷NT	シニア会	箕 浦 吉 弘		25	16	20	36
長 沢	長 生 会	中 川 雅 晴	中 川 里 枝	25	12	19	31
宇賀野	鶴 寿 会	○田 中 啓 三	○三田村 道 代	101	80	77	157
	亀 寿 会	北 村 喜代信	谷 村 明 子	59	39	41	80
世 継	福 寿 会	土 川 義 一	北 村 せつ子	93	53	72	125
合 計				702	441	519	960

令和2年度よりサポート委員を創設しました。○印は2単老クの代表者です。

部会だより よろしくお願ひします

今年度よりサポート委員を創設しました

厚生友愛部

輪が和が広がる

副会長 兼 厚生友愛部長

堤 正純

区の老人会に入ってから約十年、その間、活動には不参加の会費会員でした。あるとき班の会員の方から「いつ頃になったら参加してくれる？」と話しかけられ、「再来年になったら・・・」と時間稼ぎ？の曖昧な返事をしました。

それでも歳を重ねている私には、時は瞬く間に過ぎ、その日は来ませんでした。良識も常識も持ち合わせていない、粗忽者の私に似つかない役でした。

区内の人でも知らない方が沢山居られ、諸先輩方も多く、戸惑うばかりでした。そんな時には、会長や役員の方々、役を経験してこられた先輩方に相談すると、その時その時の適切なアドバイスを乗り切れました。

いろんな行事に参加するにつれ、人の名前と顔が分かり、私を知

てくれました。

勿論大変なこともありましたが、小雨の中での作業、暑い日差しの中での力仕事、自身の予定日に入る行事・・・等々。

それでも、一人では決して出来ないような事を、皆でやり遂げた時の喜びを、達成感を久方ぶりに感じさせてくれました。

然し、あちこちの老人会で人員不足問題が起きています。

皆さん！案外と楽しいですよ。

時間の有るときに、一度試しに参加してみませんか？

きつと輪が、和が、広がると思っていますよ。



お茶の間事業の開設

サポート委員 吉野 和雄

私は昨年の11月に、やすらぎハウス研修室を拠点として米原市地域お茶の間創造事業を立ち上げました。

団体名はルポリーベサロット（心が安らぐ場所）と名付けましたが、その知名度はまだまだ低いのが現

実です。

この開設の根底にあるのは、平成28年度介護職員初任者研修において、85才の模擬体験を受けたことです。体力や気力の衰えは全ての人に來ます。今、まだ自分がやりたいことが多少なりとも出来る気力が有るうちに取り組みました。このやすらぎハウスがある坂田と息長の接点において、高齢者が寄り集まれる居場所であり、静かな空間で自分を見つめなおす時間を大事にし、気力を蓄えて次のステップに進みたいと思っています。やすらぎハウスに訪れることがありましたら、是非立寄ってください。新しい生活様式を実践しながら社会的距離を保って、楽しいひと時を過ごして行きたいと思っています。

居場所づくり事業

(コミュニティカフェ)

【開催日】

毎月曜日、金曜日の指定した時間
(10時から2時間)

又は13時半から2時間

【事業内容】

・美味しいコーヒー又は抹茶を点てます。

・コーヒー会費100円

(オリジナルブレンド)

お抹茶 会費200円

(小山園)

・趣味のお茶会・お能の会開催 (会費制)

・趣味の野菜交換会など



抹茶

ブレンド
コーヒー

【お茶の間事業の良い点】

・高齢者等の憩いの場所としてサロンを開催することにより、世代間の交流が期待できると共に、一歩踏み出しの支援が期待できる。

・一人暮らし高齢者や高齢者世帯の安否確認ができる。

・元気な高齢者の育成に貢献する。

【今後の主な取組】

・周辺のお茶の間事業実施団体と共賛して、交流会等を開催し福祉事業の推進に貢献する。(事業情報の共有化を図る)

体育部

コロナに負けずに

健康づくりを

部長 中野 光夫

この度、体育部長という大役を仰せつかり今まで経験も無く戸惑っているのが現状であります。今後、諸先輩方の御指導を受けながら職務を全うしたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

現在、世界中猛威を振るっている新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、四月十六日には全国に緊急事態宣言が発令され各施設等が閉鎖されていた中、四月二十日に開催された令和二年度評議委員会に於いて三密（密閉・密集・密接）を防ぐ為、皆様が日頃の練習を發揮される場である第三十一回ふれあい体育祭が残念ながら中止となってしまいました。ご理解いただくとお願い申し上げます。

今後も新型コロナウイルスに負けず、次回の大会に向けて健康づくりの為に日々練習をしていただいたら幸いです。
また近江老ク連では公式フナゲ・ペタンク・フリーブロー（安

全吹き矢）・エレクトリックタワー・新しく製作されたピンゴボール等の貸し出しも行っておりますのでご利用下さい。



今後二年間、中野光夫・中川雅晴・藤田一雄（サポート委員）の計三名で努めてまいりたいと思っておりますので、皆様のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

また一緒にスポーツを！

中川 雅晴

これより二年間、体育部を中野部長、サポート委員の藤田さんと共に担当させていただきますので宜しくお願いいたします。

今年に残念ながら春の「ふれあい体育祭」は中止となりました。

ステイホームで、お家にいる時間が多くなっていると思います。畑仕事や散歩したり、テレビの超ラジオ体操をしたりと体を動かしておられる会員の方もおられると思います。

健康を維持するには、無理のない範囲で体を動かすことや、おしゃべりは非常に大事なことです。

皆様と一緒にスポーツが出来る日が来ることを楽しみにしています。



穏やかな日々の暮らしへ

サポート委員 藤田 一雄

会員の皆様とは、其の後疎遠に成って居りますがいかがお過ごしでしょうか。

何方様もお元気の事と拝察申し上げます。

三十、三十一年度の理事在籍中は、大変お世話様に成り有難うご座居ました。

会員皆様方の暖かいご支援のお

陰により、あつという間の幸せな二年間でした。

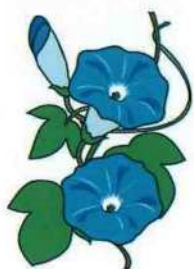
此の三月で理事を退任できると思っ居りましたが諸般の事情により、サポート委員として残ることになりました。

当初のまれた時は少し躊躇して居りました。そんな時脳裏を横切ったのが二度とない人生、最後の機会、又奉仕の思いもう一期、悔いのない様頑張ろうと思いましたが、まだまだ微力ですので今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げます。

今年を経験したことのないコロナウイルスにより、社会全体が大きな影響を受けています。日本各地で計画されていた多くのイベントも縮小、中止に追い込まれました。近江老ク連活動も三密（密接）（密集）（密閉）を避ける為、ふれあい体育祭、親睦旅行も中止延期に成り大変寂しい限りです。

又日常は

不用不急の外出自粛、生活様式の変化で今迄に無い不自由な生活を皆さん余儀なくされている事と思



一日も早い事態が終息し以前の様な、穏やかな日々の暮らしが出来る様願っています。

その暁には会員皆様方のお元氣な笑顔を拝顔し、いつものように楽しい老人クラブ活動ができればと思います。

其の日が一日も早く来るのを楽しみに、お互いお身体呉々もご自愛下さい。

教養部

教養部の事業について

部長 高居 芳美

令和二年・三年度は、古野芳幸、木田勝幸（サポート委員）と私の三人で担当させて頂きたく思います。主な事業は次のとおりです。

「ねんりんおうみ」の編集

七月と十一月の年二回発行される「ねんりんおうみ」の編集をさせて頂きます。

内容は、時々の老ク連活動の状況とともに、「単老だより」として各自治会老人クラブの活動などを中心に、目新しい情報も交えて編集してゆきたいと考えています。各単老の会長様には力作をお掛けいたしますが、原稿を宜しくお願

いたします。

今号の表紙は、近江地区を西に流れる天野川を息長橋から眺め、『万葉集』の波多朝臣小足の歌を添えました。

この歌は「越の国に向かう磯の路そこに流れる能登瀬川。この能登瀬川の瀬ごとに立ち上るさざれ波の音、何とさやけき（清らかな）ことか。」という意味です。

「高齢者大会」

例年どおり、白寿・米寿・喜寿・金婚の方々のお祝いと、アトラクションを企画運営させて頂きたく思います。アトラクションなど、よいお考えがあればお教えください。

皆様からの

情報をお待ちしています

古野 芳幸

この度、教養部を担当させて頂く事になりました。

私自身、老人クラブに入会してまだ三年しか経験しておりません。何分にも始めての事で任務が全うできるのか心配しております。微力ではありますが頑張っております。

今年度、当初の行事はコロナの関係でやむをえず中止となりましたが、活動再開ができる様願っております。

各単老の役員、会員様方には、活動状況、地域情報等お知らせ頂ければと思っております。

また、ご指導、ご協力宜しくお願ひ申し上げます。

オンラインで

孫たちが帰ってきた

サポート委員 木田 勝幸

今年のゴールデンウィークは新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が発令される中、始まりました。

安倍首相は感染拡大を防ぐために大型連休で外出を自粛するよう要請し、ビデオ通話を使った「オンライン帰省」を呼びかけました。

我が家にも、独立している息子家族がいて、休園・休校の子供たちと毎日何をして過ごしているのかと、ちょっと気になっていました。

ちよつどイチゴの季節でもあり、この休みに、我が家の畑のいちご狩りにでも帰ってきたらと連絡したところ、帰らない

けどオンライン帰省をしますと連絡があり、WEB会議サービス「Zoom」を使って実施したいとの事でした。

端末はパソコン、スマホ、タブレット等で、マイク・スピーカーが付いていれば使え、主催者がWEB上で会議会場・日時を設定し



『万葉集』巻第三の三一四番歌には、波多朝臣小足が歌一首として、つぎのような歌がある。
小浪 磯越道有 能登瀬河
音之清左 多芸通瀬每尔
一訓読文
さざれ波 磯越道なる 能登瀬川
音のさやけき 激つ瀬ごとに

招待メールを送り、招待された参加者は受信メールのURL（情報の住所）をクリックすれば、即ビデオ通話ができるという事でした。元々、IT機器操作に疎く、高齢になつた今、上手く対応できるか心配でしたが、事前にアプリを準備しておいたので、スムーズにビデオ通話することが出来ました。息子家族みんなの笑顔を見ながら、雑談程度の会話がストレスなくする事が出来ました。

オンライン帰省は、さすがに実際の帰省とは違い
ますが、
交通費、
移動時間
がかから
ず安全と
いったメリ
ットが
あります。
少しは



かりのITスキルが必要かもしれませんが、スマホ、タブレット端末があり、インターネット環境が整っていれば、リンクを開いてすぐにビデオ通話ができます。

今回は、非常事態宣言下でオンライン飲み会やオンライン帰省が

注目を浴びていましたが、この文章が掲載される頃には非常事態宣言が解除になり新型コロナウイルスも落ち着いているかもしれませ

ん。
普段から、時々、ビデオ通話を使って家族間のコミュニケーションをとってみてはいかがでしょうか。

役員改選後も引き続き、サポート委員として教養部で活動することになりました。
よろしく願います。



宇賀野 K・T

昭和37年宇賀野老人会が男子6人の会より結成され、翌年の1月宇賀野老人クラブ（長寿会）とし活動が始まり、昭和46年4月滋賀県土木協会より表彰を受ける。

昭和47年4月より亀寿会・鶴寿会とし、昭和50年4月会員数129

名、昭和62年4月226名の会員数になる。

平成2年4月坂田小グラウンドでグラウンド・ゴルフ、ペタンクの初練習がされる。

平成24年4月宇賀野老人クラブ創立50周年記念、平成28年4月全国老人クラブ連合会より宇賀野老人クラブが表彰を受ける。

以上の歴史が有り、歴代の諸先輩方々の活動及びご苦労が伺える。

昨今の社会情勢が急激な化する時、共存共栄が希薄していく中、我々世代が子孫に歴史の重みを継承する責務があると思います。

本年会員数237名おられますが、グラウンド・ゴルフ同好会のメンバー50名が、毎水曜日午前中母の郷ドームにて、クラブの活動を通じ、親睦をはかり、ともに楽しみ、健康で長生きするよう心がけておられます。

例年5月下旬に「中日新聞杯宇賀野GG大会」を開催、今年は第10回となる記念でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応で、延期されています。同好会の皆様が残念な思いでありますが、11月3日には、うかの福祉会主催の世代を越えた「ふれあいGG大会」の運営、さらに、11月9日に

宇賀野老人クラブGG大会を予定しています。
これからも、老後の生活を健全で、明るく、朗らかに、仲良く、楽しく交流に努めていきますように念じていたいです。



去年の中日新聞杯宇賀野GG大会



母の郷ドームにて

いよいよスタートです

能登瀬長寿会竹組会長 古野輝男

代表を引き継いですぐに「新型コロナウイルス」騒動に世間が巻き込まれ、能登瀬長寿会も計画変更を余儀なくされました。

4月上旬に健康祈願祭を山津照神社で執り行い、その後花見の宴をするはずでした。

取りやめは残念ですねー!!

能登瀬長寿会単独事業ではありませんが、能登瀬お茶の間クラブの活動に協力しています。

活動を始められてから7年目に入っています。長寿会役員に協力を求められ参加しています。

お茶の間に来られる方は、お茶飲んで皆とゆつくりしゃべりたい人、健康体操（まいばら体操）には少しでも長く元気な体を保ちたい方が参加されています。

しかし参加されているのは高齢者の1/3ほどでほとんどが女性です。男性は畑作業や山の手入れ、この時期は筍の始末に追われたりと忙しく元気に活動されています。

長寿会もお茶の間も高齢者を対象にした活動です。何か役を引き受けると、ついでに

これもと付いてくる。誰もした
くはないけれど誰かがしないと続
かない。

仕方ないな自分もまたお世話にな
るんだからこの思いでやっていま
す。

緊急事態宣言が解除され6月か
ら活動が再開されます。

長寿会は6月に廃品回収を行いま
す。これが今年度初事業になりま
す。

いよいよ活動がスタートです。



昨年度のお茶の間クラブ 塗り絵

皆元気で 楽しく

長沢長生会 中川雅晴

長沢長生会は、近江老朽連に加入している単老の中で、会員数は最少の団体です。

近年老人会を取巻く環境は、大変厳しいものがありますが、我々として地域において何が出来るかを考えて行動し、その存在感を出していくことが大事なことでないでしょうか。

今年は、新型コロナウイルスの影響で上半期の行事は中止を余儀なくされている状況ですが、この機会にこれからの老人会のことを考えてみたいと思います。

例年の長沢長生会の活動は、春の花見会、総会、スポーツレクリエーション、グラウンドゴルフと食事も環境美化活動への参加また近江老朽連主催の行事にも積極的に参加してあります。

これらの行事に参加することは、他集落の皆様との親睦も図られ活力をいただける良い機会だと思います。

この様な活動を通じて、地域との関りを維持しながら会員同士の安否確認や地域への貢献も果たし

ていると感じております。
会員それぞれが、自分の出来る範囲で参加していることが大事なことでだと思っております。

これからの老人会は、もっと生きがいと健康づくり等を通じて楽しい活動を行いながら、会員相互の知識や経験を生かして老人会活動に取り組むことが大事であると思ひ、楽しいクラブ（老人会）を目指して、皆で楽しめる内容を中心に、仲間との会話・食事もや軽いスポーツ等々を実施しながら、何よりも長く健康で居られるようにするために、考えて行動できるようにしたいです。

今後、一人暮らしの方や高齢者世帯がさらに増加する中、声掛けや話し相手等々友愛活動とも連携しながら活動をして行きたいです。



料理教室の様子

老人クラブアンケートの結果概要について

実施期間: 令和元年10月～

1 アンケートについて

高齢者の皆さんが様々な活動を通じて楽しく生きがいをもって暮らしていただくよう、今後の施策を考えるため、令和元年度の10月より、市が把握している単位老人クラブに向けて、アンケートを実施しました。

協力して下さったすべての方に、改めてお礼を申し上げます。

○回答数 3028件 ○回答クラブ数 58クラブ(内訳 米原15 近江12 山東21 伊吹10)

2 アンケートの中で注目する結果

- ①会員の高齢化が進んでいる。
- ②1人暮らしや高齢者世帯の会員が多い。
- ③会員の半数以上が活動に参加されており、会員の4分の1の人は参加されていない。
- ④老人クラブの活動としては社会奉仕活動が多い。
- ⑤社会奉仕活動に負担を感じる方は報酬があっても参加しない方が半数を占める。
- ⑥社会奉仕活動の報酬に対して年代間での違いがある。
- ⑦元気に暮らしていくためには「人との交流」「趣味活動」「運動」が必要と回答された方が多い。

3 結果から見えたこと

- ・会員の高齢化が進み、1人暮らしや高齢者世帯が多くなっているため、この背景に応じた活動が今後必要となる。
- ・老人クラブ活動には会員の半数が参加され、地域の社会奉仕活動に対する役割は大きい。
- ・社会奉仕活動を負担とする人は、報酬だけでなく参加していただくための取組を検討していく必要がある。
- ・老人クラブ活動に参加したい人は多いが、4分の1の人は参加したくないと回答されている。今後、活動に「人との交流」「趣味活動」「運動」を取り入れることで、積極的な参加につながると考えられる。

今後、市でも、今回の結果を基にして…

老人クラブへの支援等、現行の制度改正に向けて検討を行います！



くわしくは 米原市役所 暮らし支援課
電話:0749-55-8110 まで！！

